

Lesson 10

p.90 一般動詞

1 一般動詞の働きと用法

① be 動詞(am・are・is)…今まで学んできた「～です」を表す動詞

② 一般動詞…be 動詞以外の、人や物の動作・状態を表す動詞(「走る」「書く」「持っている」などなど)

※ 目的語を取る動詞と目的語を取らない動詞がある

- ・目的語を取る動詞… have「～を持っている」、like「～が好きだ(～を好む)」、study「～を勉強する」
read「～を読む」、play「～をする、弾く」、know「～を知っている」など
→目的語:「～を」「～に」などにあたる、動詞の直後に置く「名詞」のこと。

[例]	You	have	a book.	They	like	baseball.
	主語	動詞	目的語(名詞)	主語	動詞	目的語(名詞)

- ・目的語を取らない動詞…go「行く」、come「来る」、swim「泳ぐ」など

[例]	We	go	to school.	You	run	fast.
	主語	動詞	修飾語(副詞)	主語	動詞	修飾語(副詞)

※ to school「学校へ」、fast「速く」、very much「とても、非常に」、hard「一生懸命に」、
well「上手に」などは、動詞をする修飾語で「副詞」「副詞句」といい「名詞」ではないので目的語ではない。

2 一般動詞の否定文・疑問文

① 否定文の作り方…主語と動詞の間に do not(don't)を入れる。

[比較] I play tennis in the park.
I do not play tennis in the park.

② 疑問文の作り方…文頭に Do を置く。

[比較] You have some CDs.
Do you have any CDs? → 答え方…Yes, 主語 do./No, 主語 do not.